

BUDŌ

# NEWS

## 今月のニュース

天皇盃第68回全日本男子弓道選手権大会  
中條大輔（石川）が初優勝に輝く

皇后盃第50回全日本女子弓道選手権大会  
前田かおり（東京）が皆中で初優勝



# 天皇盃第68回全日本男子弓道選手権大会 中條大輔 教士六段 (石川)が初の天皇盃



天皇盃第68回全日本男子弓道選手権大会・皇后盃第50回全日本女子弓道選手権大会は、9月21日～25日、三重県伊勢市の神宮弓道場で開催された。大会には全国から男子110名・女子108名の代表が参加して弓道日本一を争った。

男子は中條大輔教士六段(石川)が初優勝。最高得点賞は坂本達雄教士七段(青森)が初の受賞となった。女子は昨年3位の前田かおり教士六段(東京)が2回目の出場で初優勝に輝き、最高得点賞は山田直美教士七段(大阪)が初受賞した。

男女とも予選は各自4射(一手2回)を行い、2中以上の得点上位20名が決勝に進出。決勝は、各自10射(一手5回)的的中制で順位を決め、同中の場合、優勝決定戦を射詰競射で、優勝以外は遠近競射で決定した。



天皇盃を授与される中條大輔教士六段



男子入賞者=左から飯山、志村、中條、細川、大隅、坂本



矢渡し (吉本清信範士九段)

## ◆男子

9月23日～25日

23日の開会式、矢渡しに続いて、24日に110名が出場して予選が行われた。

昨年優勝の小原裕幸(島根)は予選4射で2中の1428点。全体の24位で決勝進出を逃した。

出場7回目の坂本達雄(青森)は一回目で2中して746点を獲得し、前半をトップで折り返すと、二回目も2中で753点でトップとなり、計1499点で初の最高得点賞を獲得した。その他の決勝進出者には土佐正明(千葉)、川名修徳(宮崎)、平澤敏弘(長野)、細川孝夫(福井)といった過去の選手権者や、昨年準優勝の常光祐一(高知)、6回目の挑戦で初の決勝進出を果たした中條大輔(石川)らが名を連ねた。

25日の決勝は、秋の訪れを感じる心地よい気温の中で始まり、平日にもかかわらず朝から大勢の観客が集まって、今年の弓道日本一誕生の瞬間を見守った。

4回目を終えた時点で皆中者はなく、大隅雅成(鹿児島)、中條大輔(石

川)と志村仁(長野)の3名が7中で並び、6中の飯山雄介(宮城)、鹿野伸一(東京)、平澤敏弘(長野)、細川孝夫(福井)の4名が追う接戦となった。

最終回の5回目、飯山は2射も的中させて8中、大隅は1射目で手痛い失中となるも、乙矢は的中させて8中とした。中條は1射目を的中させて続く2射目。ここで決めればトップに躍り出る場面でも落ち着いた様子で会に入り、しつかり的中させて9中。場内からは大きな拍手が送られた。中條はこの時点で単独トップになり、9中の可能性を残す志村の結果を待った。その志村は、注目の1射目で痛恨の失中。場内からは大きな溜め息があり、この時点で中條の優勝が確定した。志村は1射目の失中を引きずらず、2射目をきっちり詰めて8中とした。細川は2射ともの中させて8中、鹿野、平澤は7中で競技を終えた。

すべての立が終わり、2位から5位決定のための遠近競射が8中の飯山、大隅、志村、細川の4名により争われ、2位細川、3位志村、4位大隅、5位飯山に決定した。

# 憧れを追い求めて

◎優勝Ⅱ中條大輔教士六段（石川）



「信じられない気持ちです。最高に嬉しいです」

優勝の喜びを簡潔に表現した中條はまだ37歳。大舞台で最高の結果を手にしたが、苦しみながらの試合だったようだ。

「肘を数週間前に痛めまして、数を引くごとに痛くなり、それを堪えながらやっていました。『会』で勝負できなかったのですが、それは残念ですが、できる限りのことを精一杯やりました」

選手権の出場は6回目だが、決勝進出は今回が初。鬼門である予選は19位とギリギリの通過だった。

「予選は1回目が終わって6位

で、2回目は思い切りやるだけだと思っていたら悪いところが出て点数が伸び悩みました。予選は通っただけOKとします（笑）」

弓道は高校2年のときに友人の影響で始めた。競技歴はちょうど20年になるが、小学生の頃に竹で弓を作って遊ぶなど、昔から興味はあったそうだ。そんな中條の全日本選手権に対する憧れの原点は、今大会の矢渡しで美しい射を披露した吉本清信範士だという。

「20歳の時に全日本弓道選手権で吉本先生の立ち居振る舞いや射を見て感動したんです。吉本先生に憧れて、この大会で優勝したい！と強く思いました。17年越しの夢が叶いました」

今後の目標は、誰も成し得ていない2連覇と最高得点賞の同時受賞と語った中條。吉本範士のような人を魅了する射での快挙を期待したい。

◎準優勝Ⅱ細川孝夫教士七段（福井）

「最初は細かいところにこだわっていましたが、途中から止めて、ひたすらの向かっていくことに集中しました。離れがスパツといかず、切れが悪かったのでその辺が良ければもつといい結果がでたと思います。最後の射は全て忘れて思い切りやりました。選手権は来年こそ自分が満足できるように頑張ります」

▽3位Ⅱ志村仁錬士六段（長野）

「できることをやり切れればいいと思っていました、ダメでした。射が早いので、そこをしつかりということ、引き尺を取ろうと心掛けていました。決勝進出は初めてで、3位は最高成績です。調子は悪かったですね。悪いなりにどうにか中てている印象でした。今後は目の前の一本を引ききれるように練習します」

▽4位Ⅱ大隅雅成教士七段（鹿児島）

「2年前にも出場して、それよりも良い成績を、と思っていたのですが前回と同じ順位だったので残念です。射は悪かったですね。点数つけるなら赤点です。一番基本となる胴

作りと縦線が緊張して全然効かなかったです。弓道の最高目標である真・善・美を発揮できるように頑張っていきたいです」

▽5位Ⅱ飯山雄介錬士六段（宮城）

「2年前の選手権に出場して、予選で全部中つたんですが、予選落ちしました。そのときに、射品、射格ができていないということを痛感して、そこを直そうとずっと稽古してきました。決勝は的中戦になります、射品、射格を意識しました」

◎最高得点賞Ⅱ坂本達雄教士七段

（青森）

「未熟な所がたくさんあるにもかかわらず、高い点数をつけていただいたことを謙虚に受け止めています。これからは目標とされる立場になるので、それに見合った射の成熟や、技術的・精神的にも向上することが必要です。新たな課題と責任の重大さを感じています。少しでも時間を作って、毎日稽古しようとして取り組んでいます。来年以降も出場して、今度は天皇盃をいただきたいと思っています」



最高得点賞＝坂本達雄教士七段



第3位＝志村仁錬士六段



第4位＝大隅雅成教士七段



第5位＝飯山雄介錬士六段



準優勝＝細川孝夫教士七段

立順	氏名	所属	予選			決勝										的中	遠近 競射	順位
			的中	得点	順位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
1	佐藤 昌仙	岩手	3	1436	17	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	6		
2	土佐 正明	千葉	2	1450	4	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○	6		
3	常光 祐一	高知	4	1446	7	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	7		
4	飯山 雄介	宮城	4	1449	5	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	8	4	5
5	松田 智行	青森	4	1434	20	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	6		
6	大隅 雅成	鹿児島	3	1441	9	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	8	3	4
7	吉澤 喜芳	埼玉	4	1436	16	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	6		
8	鹿野 伸一	東京	3	1447	6	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	7		
9	中條 大輔	石川	3	1435	19	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	9		1
10	川名 修徳	宮崎	2	1436	18	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	6		
11	平澤 敏弘	長野	4	1439	13	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	7		
12	道越 良治	石川	3	1441	10	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	3		
13	渡辺 直人	広島	3	1438	14	×	○	×	○	○	×	○	×	○	○	6		
14	細川 孝夫	福井	2	1453	3	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	8	1	2
15	志村 仁	長野	4	1440	11	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	8	2	3
16	森本 浩之	愛媛	4	1436	15	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	7		
17	吉本 清巳	奈良	2	1440	12	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	7		
18	坂本 達雄	青森	4	1499	1	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	3		
19	荒川 博行	北海道	4	1476	2	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	6		
20	米山 良美	茨城	3	1444	8	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	6		



# 皇后盃第50回全日本女子弓道選手権大会 前田かおり（東京）教士六段が皆中で皇后盃



皇后盃を授与される前田かおり教士六段



客席には大勢の観客が詰めかけた



女子入賞者＝左から斉藤、伊藤、前田、守谷、室町、山田



◆女子

9月21日～23日

21日の開会式、矢渡しに続いて、22日に108名が出場して採点制の予選が行われた。昨年優勝、最高得点賞獲得の斉藤美智子（静岡）は、予選3中の1433点で全体11位で予選を通過した。7年前の優勝者である山田直美（大阪）は1回目で2射と

前田を追うのが7中の守谷真弓（静岡）、室町純子（埼玉）、6中の斉藤美智子（静岡）、藤野小百合（福岡）、伊藤紀美子（三重）ら5名という状況で最終回を迎えた。

もの中させて72点を獲得。4位で折り返し、2回目も2中で73点となり、合計1461点。山本あけみ（福井）を1点差で振り切り初の最高得点賞を獲得した。その他、小牧佳代（京都）、藤野小百合（福岡）などの優勝経験者をはじめ、昨年準優勝の西田郁子（福島）、3位の前田かおり（東京）といった顔ぶれが決勝に揃った。

最終回の5回目、6中の斉藤はしつかり2射とも詰めて8中。昨年の優勝者としての矜持を見せ、後の結果を待った。続く前田は淡々と甲矢を的中させて9中。中れば優勝となる2射目。観客の視線が注がれる中、前田はゆつくりと会に入り、矢を放つと、小気味良い音が場内に響き、見事的中。皆中で前田の初優勝が決まり、観客はこの日一番の大きな拍手で新女王の誕生を祝福した。7中で最終回に臨んだ守谷は正確な射で2射とも的中させて9中。同じく7中の室町は1射目で痛い失中となるが、2射目はしつかり中てて8中。守谷の2位が確定した。藤野、伊藤は2射ともの中させて8中で終えた。

23日の決勝は、前日の雨模様とは一転して穏やかな秋晴れとなった。土曜日ということもあり、観客席は大勢の弓道ファンや関係者で埋め尽くされ、大会の行方を固唾をのんで見守った。

引き続いて3位から5位を決める遠近競射となり、8中の斉藤、室町、藤野、伊藤の4名で争われた。競技の結果、3位伊藤、4位室町、5位斉藤にそれぞれ決定した。

的中制の決勝では、4回目を終えた時点で皆中者は前田かおりのみ。

# 人に感動してもらええる射を

◎優勝Ⅱ前田まえだかおり教士六段（東京）



引いたという射の印象と重なる。自身の射については反省の言葉がついて出る。

「技術的にも精神的にも未熟なところがいっぱいあります。今後は深い射だったり、一本芯の通った射ができるようになります」

前田は昨年の全日本選手権に初出場で3位という好成績を残し、2回目の出場となる今年、一気に頂点に上り詰めた。最終回を終えた直後には自分の優勝にまだ気付いておらず、少し戸惑いを見せながら感想を語ってくれた。

「まだ気持ちの整理がつかないです。とにかく自分の射をしようと思っ一本一本に集中しました。昨年3位でしたが、それにとらわれないで淡々と引きたいなと思っ稽古を続けていました」

皆中で初優勝を果たしたが、表彰式でも引き締まった表情は崩れない。そんな凛々しさが、淡々と

弓道を始めたのは高校時代。同級生のお姉さんの袴姿はかまがたに憧れたことがきっかけだという。以来、社団法人になって中断していた時期を除いて、弓道歴は20年。長く続けてきた弓道の魅力は、前田の目標にも通じている。

「的に中つたときの気持ちよさ、そして、弓と自分の身体が一体になるようにしたり、人が見て感動してもらええるような射を追求していく奥深さが魅力です。技術面も体配も磨いて、そんな射ができるようになることが目標です」

掲げた目標に向けて、前田は弓を引き続ける。

◎準優勝Ⅱ守谷もりや真弓まゆみ教士六段（静岡）

「今回初出場なんですけど、大会が近づくにつれ気持ちが追いつめられていきました。ですが、練習日に初めて伊勢の道場で練習したら、ここで引けることが嬉しくなって、あとは基本通りに真つすぐ離せばいいと思えました。私は、引き分けに時間がかかって、張つてある程度止まらなければいけないんですけど、今できることをやるしかないと思つてやりました」

▽3位Ⅱ伊藤いとう紀美子きみこ教士七段（三重）

「ずっと苦しくてなかなか調子が上がりませんでした。客席の方に拍手をいただいて、その力で頑張ることができました。納得いく射がほとんどなかったことを反省しています。20回出場して過去最高が3位です。前回の3位も伊勢神宮だったので、来年の明治神宮では優勝、最高得点賞を目指して稽古します」

▽4位Ⅱ室町むろまち純子じゆんこ錬士六段（埼玉）

「初出場だったので無我夢中で引きました。射もそうなんですけど、体配とか要素所できていなくて、勉強

不足だなと感じました。この大会では的中はもちろん、射型が厳しく見られるので審査のように入場から退場まで意識して臨みました。4位は悔しいです。もう一度勉強してこの大会に挑みたいです」

▽5位Ⅱ斉藤さいとう美智子みちこ教士七段（静岡）

「自分では気にしていないつもりだったんですけど、昨年の優勝、最高得点賞のプレッシャーがありました。5位に入賞できて良かったです。本番は射に動揺があつて、どうやって集中するか考えていました。来年また一から頑張ります」

◎最高得点賞Ⅱ山田やまだ直美なおみ教士七段

（大阪）

「昨年も選手権には出られず、目標は予選通過でしたので、最高得点賞は、柵はしから牡丹餅ぼたんもちで、嬉しい反面、びっくりしています。決勝では弓を引けることが嬉しくて、うきうきして集中できていませんでした。気持ちの持つて行き方を勉強しないとイケません。全日本選手権は年に一回の舞台なので、ここで自分のベストが出せるように努力します」



最高得点賞=山田直美教士七段



第3位=伊藤紀美子教士七段



準優勝=守谷真弓教士六段



第5位=斉藤美智子教士七段



第4位=室町純子錬士六段

立順	氏名	所属	予選			決勝										的中	遠近 競射	順位
			的中	得点	順位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
1	白井 洋子	千葉	4	1425	19	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	6		
2	吉田 裕子	徳島	4	1436	10	×	○	×	×	○	×	○	○	×	×	4		
3	山田 直美	大阪	4	1461	1	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	4		
4	星野 信子	愛知	2	1429	15	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×	4		
5	越能 公子	石川	2	1431	13	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	5		
6	佐野 弥生	山梨	3	1443	9	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	3		
7	小牧 佳世	京都	2	1430	14	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	7		
8	斉藤美智子	静岡	3	1433	11	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	8	3	5
9	前田かおり	東京	3	1426	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10		1
10	亀山 節子	大分	4	1426	17	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	5		
11	小西 文子	石川	3	1424	20	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	7		
12	松村由喜子	奈良	4	1432	12	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	3		
13	西田 郁子	福島	3	1455	3	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	5		
14	山本あけみ	福井	4	1460	2	×	×	○	○	○	×	○	○	×	○	6		
15	市川 政子	埼玉	4	1444	8	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	3		
16	守谷 真弓	静岡	4	1428	16	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9		2
17	室町 純子	埼玉	4	1452	5	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	8	2	4
18	藤野小百合	福岡	2	1449	6	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	8	4	
19	鹿野 信恵	埼玉	4	1453	4	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	3		
20	伊藤紀美子	三重	3	1448	7	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	8	1	3

好評発売中

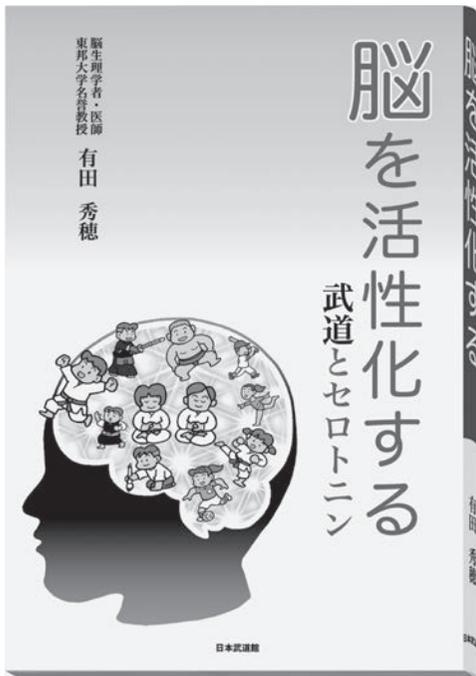
脳生理学者・医師  
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

# 脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もが  
できる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。



A5判・並製・346頁・1600円+税



**有田 秀穂**  
(ありた・ひでほ)  
昭和23年(1948)東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。

### 主な内容

第1部 脳の活性化とは

- 坐禅とセロトニン
- ストレッチとしごき
- 空海はセロトニン活性の達人
- 『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング
- 沢庵の「不動智」とワーキングメモリー
- 不動明王と心の三原色
- 『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識
- 悪夢を消すには？
- 精進料理とセロトニン合成
- 「茶の湯」とセロトニンの生活
- 「自然に体が動いた」を脳科学で解く
- 勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する
- 「武道の礼法」は社会脳を育む
- 相撲の「四股」は品性を育む
- 書道も心技体の人間修行
- アンドロゲンと闘争心
- 日本の祭にはセロトニンがたっぷり
- スキンスリップとオキシトシン
- 空手の稽古は坐禅修行に通じる
- 脳は「丹田呼吸法」をどう操るか
- 試合における最適な覚醒状態
- サイエンスは「気」をどこまで解明したか
- 仙人術を脳科学する

第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

- 日本武道館会長 松永 光
- 東邦大学名誉教授 有田 秀穂

： 他

編集・発行 日本武道館  
 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
 ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp  
 お問い合わせ・ご注文は 日本武道館出版広報課 までどうぞ！  
 TEL03(3216)5147  
 FAX03(3216)5158

一千数百年の歴史を有する  
武道の全容をこの一冊に集大成!!  
武道小百科事典としても役立つ  
充実した巻末の資料編!!

柔道 剣道 弓道 相撲 空手道 合気道  
少林寺拳法 なぎなた 銃剣道をはじめ、  
各武道統括団体の全面協力によって完成!!

# 日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

# 日本の武道

好評発売中!

日本武道館編



(B5判・上製・箱入・526頁)

### 目次

#### 序章

刊行の辞：塩川正十郎 日本武道館・日本武道協議会会長  
刊行にあたって：松永 光 日本武道館理事長  
武道のすすめ：養老孟司 東京大学名誉教授  
武道憲章（「武道憲章」(武道憲章英訳文)「ごも武道憲章」  
カラー口絵(日本武道館、9武道+日武協30年のあゆみ)

#### 第1章 日本の武道

第1節 日本の武道…………… 杉江正敏 大阪大学教授  
第2節 武士道から武道へ…………… 菅野覚明 東京大学大学院教授  
第3節 武道の近代化…………… 嘉納治五郎師範の教え：  
村田直樹 講道館図書資料部長  
大保木輝雄 埼玉大学教授

#### 第2章 日本の古武道

第1節 日本の古武道…………… 横瀬知行 古流武術研究者  
第2節 古武道の技と心……………

#### 第3章 現代の武道

第1節 柔道…………… (財)全日本柔道連盟  
第2節 剣道…………… (財)全日本剣道連盟  
第3節 弓道…………… (財)全日本弓道連盟  
第4節 相撲…………… (財)日本相撲連盟  
第5節 空手道…………… (財)全日本空手道連盟  
第6節 合気道…………… (財)合気道連盟  
第7節 少林寺拳法…………… (財)少林寺拳法連盟  
第8節 なぎなた…………… (財)全日本なぎなた連盟  
第9節 銃剣道…………… (社)全日本銃剣道連盟

#### 第4章 組織・研究機関

第1節 日本武道協議会……………  
第2節 全国都道府県立武道館協議会……………  
第3節 日本武道学会……………  
第4節 日本古武道協会……………  
第5節 武道学科等設置大学 ① 国際武道大学 ② 国士館大学  
③ 東海大学 ④ 日本体育大学 ⑤ 鹿屋体育大学 ⑥ 中京大学  
⑦ 天理大学 ⑧ 筑波大学

#### 第5章 資料編

第1節 役員名簿・組織図……………  
第2節 日本武道協議会武道功労者一覧……………  
第3節 全日本選手権大会優勝者一覧……………  
第4節 年表「武道・近代百四十年の歩み」中村民雄 福島大学教授  
第5節 学校体育における武道の姿 遷 本村清人 東京女子体育大学教授  
第6節 武道主要参考図書……………

(現職・法人名は刊行時)

編集・発行 日本武道館  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

# 第8回 鹿島神宮奉納 日本古武道交流演武大会



演武始め・天真正伝香取神道流剣術

## 古武道 33 流派が武神に巧技を奉納

第8回鹿島神宮奉納日本古武道交流演武大会（主催 日本武道館・日本古武道協会）が、10月8日、武神を祀る鹿島神宮（茨城県鹿嶋市）で開催され、全国から集まった古武道33流派が奉納演武を行った。

演武大会の開催された10月8日は清々しい秋晴れの一日となった。本大会には、33流派143名が参加。延べ3500名を越す多数の観覧者が熱心に演武を見守る中、開催された。

大会は午前9時30分に各流派の代表者が昇殿参拝と記念撮影を行った後、10時に三藤芳生日本武道館常任理事・事務局長（日本古武道協会常任理事）による開会宣言で開会。国歌斉唱に続いて、白井日出男日本武道館理事長（日本古武道協会理事長）が主催者挨拶を行った。

「本大会に、多くの方々のご参加をいただき、盛大に開催できますことを心から嬉しく思います。鹿島神宮は武の神を祀る社で、いわば武の殿堂、メッカともいえるべきところです。我が国において古武道は千数百年の歴史を持っており、長い歴史と伝統の中で培われてきた伝統文化です。



拜殿



鹿島神宮大鳥居



三藤 芳生  
日本武道館常任理事・事務局長



錦織 孝一  
鹿嶋市市長



鹿島 則良  
鹿島神宮宮司



臼井日出男  
日本武道館理事長

私共はこの文化をさらにしつかりと  
していかなければならないと改めて  
感ずるところであります。

幸いにも5年前から、我が国の中  
学1・2年生が保健体育の授業で武  
道を学ぶことができるようになりま

した。武道精神が日本の伝統精神に  
基づいて、しつかりと日本国民であ  
る我々に根付いていくようにさらな  
る努力をして参ります」

次に、錦織孝一鹿嶋市市長が祝辞  
を述べた。

「本日は天候にも恵まれ、第8回鹿  
島神宮奉納日本古武道交流演武大会  
が、武の神であります武甕槌大神の  
本殿の前で盛会に開催できますこと  
をお慶び申し上げます。鹿嶋市は劍  
聖塚原ト伝生誕の地でもあり、鹿島  
新當流劍術という古武道を代々受け  
継いできた地であります。このよう  
な地で、全国各地から33流派143名の  
方々に日頃の鍛錬の成果を遺憾なく  
発揮していただき、それぞれの流派  
が繋いできた伝統的な技をご披露い  
ただければありがたいと思っております。  
武士道という日本古来の非常  
に大事な精神文化を、この大会を通  
じてみなさんが改めて認識をしてい  
ただければと思います」

次に、鹿島則良鹿島神宮宮司から  
歓迎の言葉が述べられた。

「鹿島の武甕槌大神様も大変楽しみに  
されていますと思います。日頃鍛え  
た技と心をしつかりとご披露いた

き、神様にお喜びいただければ幸い  
です。武道の『武』という字を分解  
しますと『戈』と『止める』です。  
攻めていくのではなく戈を止める。

今日日本の周辺でも色々と問題が起き  
ております。こういう時にこそ、日  
本古来の古武道の精神をしつかりと  
受け継いで、日本人の心の中に武の  
心を植え付けていただければと思い  
ます」と述べ、開会式は終了した。

演武は社殿前に設えられた特設演  
武場で行われ、演武始めは、天真正  
伝香取神道流劍術が務めた。続いて、  
全国から集まった31流派の演武が順  
に披露され、静寂の中、激しくも洗  
練された技の数々が多くの観客を魅  
了した。午前10時から始まり約4時  
間半続いた演武会を、地元流派の鹿  
島新當流劍術が締め括った。

最後に、内田康介日本古武道協会  
理事・事務局長が閉会宣言を行い、  
大会は盛会の裡に幕を閉じた。



# 鹿島神宮で伝統の技と心を存分に披露



大東流合気柔術



大東流合気柔術 琢磨会



卜傳流剣術



田宮流居合術



関口流抜刀術



無雙直傳英信流居合術



天然理心流剣術



柳生新陰流兵法剣術



沖縄剛柔流武術



竹生島流棒術



鞍馬流剣術



示現流兵法剣術



兵法タイ捨流



竹内流柔術腰廻小具足



天道流雑刀術



兵法二天一流剣術



立身流兵法



鹿島新當流剣術



心形刀流剣術



長谷川流和術



為我流派勝新流柔術



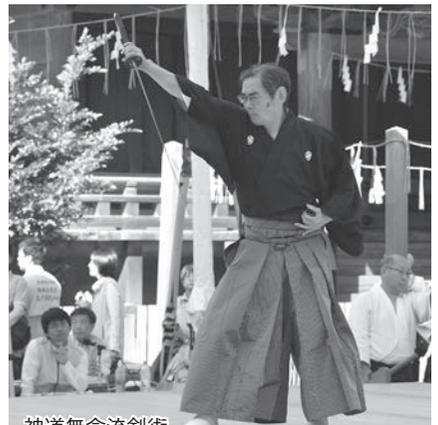
伯耆流居合術



宝蔵院流高田派槍術



荒木流軍用小具足



神道無念流剣術



天神真楊流柔術



柳生心眼流體術



心月無想柳流柔術



直心影流雑刀術



北辰一刀流剣術



荒木流拳法



無比無敵流杖術

# 日本古武道交流演武大会に先立ち 術技交流研修会・懇親会を開催

術技交流研修会は大会前日の午後3時30分より、鹿島神宮武徳殿で開催された。演武者は2流派ずつ順番に本番さながらの演武を披露した。参加者は約2時間の研修会で、演武者の一挙手一投足を熱心に見守り、切磋琢磨した。終了後、会場を移して懇親会となった。

懇親会は午後6時30分より始まり、会には演武者をはじめ、地元協力団体、大会事務局の計179名が出席した。始めに白井日出男日本武道館理事長が主催者を代表して挨拶を行



市村 修  
鹿嶋市副市長



白井日出男  
日本武道館理事長



鏡開き

い、市村修鹿嶋市副市長が祝辞を、鹿島則良鹿島神宮宮司が歓迎の言葉を述べた。その後、鏡開きとなり、白井理事長、市村副市長、吉川鹿島新當流宗家、鹿島神宮宮司、三藤芳生日本武道館常任理事・事務局長の5名が掛矢で、鹿島神宮提供の鏡樽を豪快に打ち割った。そのまま三藤常任理事・事務局長の発声で乾杯が行われた。最後は内田康介日本古武道協会理事・事務局長が中締め挨拶と大会の成功を願う万歳三唱を行い、閉会となった。

## 【出場流派・演武者】

① 天真正伝香取神道流剣術（飯篠宏太、大竹信利、京重利、荒野祥司、成毛弘、櫻井俊也）

② 竹内流柔術腰廻小具足（竹内藤十郎、竹内秀将、竹内勢至）

③ 卜傳流剣術（小山秀弘、小山隆秀）

④ 沖繩剛柔流武術（上原米和、戸田雄紀、蔵元雅一、村上実、若林義昌）

⑤ 兵法二天一流剣術（加治屋孝則、吉原晴次、前田典子、アドリアン・シユケル、月森慎悟）

⑥ 伯耆流居合術（大窪敏明、吉岡勝子、井上優一郎）

⑦ 示現流兵法剣術（東郷重賢、有村博康、藤村亨、徳永重臣、築地克秀、アレキサンダー・ブラッドショー）

⑧ 心月無想柳流柔術（桑波田秀祐、貝坂利夫、仲尾昭二、八島和雄、奥村宗一郎）

⑨ 関口流抜刀術（中山洋一、林憲一、本庄弘幸）

⑩ 宝蔵院流高田派槍術（一箭順三、西本昌永、加藤了嗣）

⑪ 兵法タイ捨流（田添信一郎、井上義一）

⑫ 竹生島流棒術（松浦寛澄、松浦利英、岩永雅彦、石川裕章）

⑬ 心形刀流剣術（小林強、原謙一、伊東大輔）

⑭ 大東流合気柔術琢磨会（三木清明、樋口明寿、谷井健一、中岡飛鳥）

⑮ 柳生新陰流兵法剣術（柳生耕一、嚴信、葎谷努）

⑯ 荒木流拳法（菊池邦光、西川二郎、細野桂一、鈴木荒一、鈴木崇史）

⑰ 直心影流薙刀術（梶山武子、関根恵児）

⑱ 長谷川流和術（桑原巡、倉田勝己、中前祐治、逸見彰一）

⑲ 立身流兵法（加藤紘、加藤敦、齊藤勝梅、谷咲太郎、前田稗、大畑勇氣）

⑳ 為我流派勝新流柔術（根本憲一、唯之、村木治治、渡邊文男）

㉑ 柳生心眼流體術（梶塚靖司、小林茂雄、吉岡一紀、大坪博憲）

㉒ 鞍馬流剣術（柴田章雄、東山誠、山本茂夫、吉田稷寛、松井康一、渡辺良雄）

㉓ 天道流薙刀術（木村恭子、福田啓子、浦部育子、小嶋弘美、福岡知子、木村有里）

㉔ 田宮流居合術（山田千代和、小野信義、清水新也）

㉕ 天神真楊流柔術（柴田孝一、柴田俊充、松浦富士雄、有沢誠、阿部岳春、今野賢太）

㉖ 神道無念流剣術（小川武、萩崎昭、土屋正則、高田一男、玉根純也）

㉗ 無比無敵流杖術（根本憲一、唯之、安二郎、大和久正幸、沢幡伸男、落合脩治）

㉘ 荒木流軍用小具足（豊田良樹、千葉明坂本浩一、片桐克彦、鶴岡嘉治、鶴岡優子）

㉙ 天然理心流剣術（平本輝彦、松本賢司、時田由記、小林恵子、常田貞行、須田英宏）

㉚ 無雙直傳英信流居合術（関口高明、藤井勝子、野口富久子、尾形明夫、清水延子、中野園子）

㉛ 大東流合気柔術（近藤昌之、吉澤隆明、石井勇一、トゥルーデル・マーク、池嶋勝則）

㉜ 北辰一刀流剣術（小澤智、高山陽好、上田忠夫、吉田信一、小瀧徳行）

㉝ 鹿島新當流剣術（豊屋敏治、内田嘉昭、橋本大、今井淳也、小松崎政史）

好評発売中

絵と文 中村麻美 (なかむらまみ)

F4判・上製・98頁・定価(本体2700円+税)

# 伝えたい日本のこころ



中村麻美 (なかむらまみ) 画家・挿画家。三重県津市生まれ。県立津西高校、津田塾大学卒。大学在学中、日本画教室(田中峰雪氏に師事)にて作画の基礎を学ぶ。英語個人教授業、第十八代ミス日本グランプリ、NHK BSニュースキャスター、絵本翻訳業を経て、絵画を志す。大和草、茶花などを題材とした日本画の本画を制作し、書籍、雑誌、新聞、テレビ番組などで歴史もの、武人画、創業者などの挿画を手がける。また、原作新聞小説

挿画を描いたNHK大河ドラマ『天地人』放映の平成十九年以降は、歴史上の人物の本画作品制作にも新境地を開いている。代表作に『天地人丸紋絵巻』(兼続お船ミュージアム所蔵)、『齋王』(三重県立齋宮歴史博物館所蔵)など。

月刊「武道」の美しいカラー表紙絵の中から45点を精選。岩絵具で描いた日本画と解説文で「日本のこころ」をお届けします。

「ひとに愛されたい、必要とされたい、社会をよくするために役立ちたい。よき人間でありたい、そしてみんなが幸せであってほしい」——こうした万国共通の願い、祈りを育て、磨くためにも、確かな手がかりとなるすばらしい逸話ばかりです。(本書「あとがき」より)

## 目次

- 一 かしこい小僧さん
- 二 ひよどり越え
- 三 天の石屋戸
- 四 巖流島の決闘
- 五 太田道灌と少女の歌
- 六 三本の矢の教え
- 七 山中鹿介―我に七難八苦を与えたまえ
- 八 良寛さまと笥
- 九 民を慈しむ仁徳天皇
- 十 中江藤樹―母への薬
- 十一 夫の危機を救う弟橘媛
- 十二 良子齋王―別れの御櫛
- 十三 桜井駅の別れ
- 十四 八俣の大蛇
- 十五 川中島の戦い―謙信と信玄
- 十六 紅梅内侍と鶯の宿
- 十七 新羅三郎義光―笙の秘曲を授ける
- 十八 小松姫―夫の居城を守りぬく
- 十九 青の洞門
- 二十 鍋島直茂と接ぎ木
- 二十一 小林虎三郎―米百俵の精神
- 二十二 島津義弘―関ヶ原敵中突破
- 二十三 光明皇后―千人のからだを洗う
- 二十四 城戸俊三―勝利を捨てて愛馬を救う
- 二十五 松坂の一夜
- 二十六 柳に飛びつく蛙
- 二十七 称名寺『青葉の楓』
- 二十八 神武天皇ご東征
- 二十九 本多忠朝とサンフランシスコ号
- 三十 つるべの朝顔
- 三十一 野中兼山―海に捨てたはまぐり
- 三十二 鉢の木
- 三十三 因幡の白うさぎ
- 三十四 堪忍のわび証文
- 三十五 橘曙覧『独楽吟』
- 三十六 南総里見八犬伝
- 三十七 吉田松陰の志
- 三十八 鳥居強右衛門の勇氣
- 三十九 明智光春―誉れの湖水渡り
- 四十 赤穂義士の討ち入り
- 四十一 頼朝を助けた梶原景時
- 四十二 真田幸村―大坂の陣
- 四十三 天照大御神と美し国・伊勢
- 四十四 和田勇―祖国にオリンピックを招致
- 四十五 長岡花火『白菊』

あとがき

編集・発行 公益財団法人日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

好評発売中

# 平法

天真正伝香取神道流師範

大竹利典 著

## 天真正伝香取神道流

近世剣術の源流として知られる天真正伝香取神道流の全伝を受け継ぐ著者が、その膨大な武と知を語る。



(四六判・上製・296頁)

香取神道流の歴史、剣術・居合術・薙刀術・手裏剣術などの武術、方術・築城術などの遁甲術や軍学兵法を、伝書を基に紹介。  
さらに、七十年近い修行人生を振り返り、武を志す全ての者に必要な「平法（へいほう）」の思想について語る。

### 目次

序章	香取神宮御出緒
第一章	歴史篇
第一節	経津主大神の真伝、「天真正伝香取神道流」
第二章	修行篇
第一節	入門
第二節	林先生に師事
第三節	香取神道流最初の異国の門弟
第四節	流祖生誕六百年記念祭
第三章	技術篇
第一節	剣術
第二節	居合術
第三節	棒術、薙刀術、槍術、手裏剣術
第四節	柔術
第五節	忍術
第四章	軍学兵法篇
第一節	遁甲術
第二節	刀剣と密教
第五章	思想篇—全ての修行者へ—
第一節	修行者の心得
第二節	兵法は平法なり
—	平和を願う偉大なる教え



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ<http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ！

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



# 日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



# BUDŌ:

## THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット  
(B5判・上製・DVD付・336頁)



# 今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



# 武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



(B5判・上製・箱入・462頁)

日本の古武道には長い歴史と伝統があり、流祖に始まる一子相伝の脈々たる生命の大河を貫く知恵と経験が一つの見事な体系となって現代に伝えられている。

古流武術研究者  
横瀬 知行 著

# 日本の古武道

直接取材による2000枚の写真と豊富な資料で古流の全貌を紹介!

平成 29 年度 **全日本学生柔道体重別選手権大会**



100kg超級決勝=佐藤（右）が払腰で攻める

**男子は全ての階級で新王者誕生**

**女子57kg級は出口クリスタが2連覇**

全日本学生柔道体重別選手権大会（男子36回・女子33回）が9月30日・10月1日に日本武道館で開催された。男女各7階級で学生日本一を目指して白熱した試合が展開された。試合時間は男女とも4分間で行われ、時間内に勝敗が決しない場合は、ゴールデンスコア（以降GS）による時間無制限の延長戦で勝敗を決した。

**男子**

▽60kg級

決勝は、東京王者の宮之原誠也（国士館）と関東王者の大島拓海（筑波）の顔合せ。左組の宮之原と右組の大島のケンカ四つ。宮之原は足を使って果敢に攻めていく。中盤、大島が消極的として指導1を受ける。終盤、宮之原が支釣込足で大島を崩し、すかさず縦四方固を決めて一本。大島が初優勝に輝いた。

▽66kg級

昨年の講道館杯で優勝した磯田範

仁（国士館）と木戸清孝（天理）が対戦。木戸が大内刈から強引に移腰を繰り返して技有と判定されるが、協議の結果、取り消される。その後、両者決め手に欠き、GSに突入。GS開始1分41秒、徐々に攻めに転じた磯田が小外刈で技有を奪う。磯田が念願の初優勝を飾った。

◎優勝II磯田範仁選手（国士館）

「初めての学生タイトルなので、高い気分です。厳しい戦いになると覚悟していたので、苦しくなっても自分の持ち味を出していこうと心掛けました。体重別団体戦と講道館杯での連覇を目指して頑張ります」

### ▽73kg級

決勝は、野上廉太郎（筑波）と石郷岡秀征（筑波）の同門・1年生対決となった。本大会の3週間前に行われた全日本ジュニアの決勝でも相見え、この時は石郷岡が勝利した。試合は開始から慎重な相手となり、両者に消極的として指導1が入る。互いに決め手がないまま迎えた試合終了間際、野上の背負投が技有となる。そのまま試合終了。野上が全日本ジュニアの雪辱を果たした。

東京3位の藤岡将吾（東海）が勝ち進んだ。右組の山本と左組の藤岡のケンカ四つ。序盤から組手争いが続き、互いに技まで繋がらない。GS開始2分、藤岡の背負投を山本が大腰で返して技有。山本が初優勝を勝ち取った。

涙の初制覇を遂げた。

### ▽100kg級

決勝には、吉良儀城（国士舘）と九州大会で優勝した後迫孝誠（福岡）が勝ち上がる。左組の吉良と右組の後迫のケンカ四つ。組み合わない両者に指導1が入る。試合開始2分40秒、吉良の大内刈が技有となる。後迫も必死に反撃に出るが、試合終了。吉良が嬉しい初優勝を手にした。

る先輩・後輩対決となった。試合は膠着し、勝負はGSにもつれる。互いに指導2を重ね、一進一退の攻防が続く。GS開始5分16秒、佐藤が一瞬の隙をつき、小内刈で技有を奪って勝負あり。佐藤が先輩の意地を見せた。

### ▽90kg級

決勝は、安達健太（東海）と全日本ジュニア準優勝の長井晃志（日本体育）の対決となった。試合開始30秒、長井が体落で技有。安達はすかさず攻めに転じて、強引に長井を抑え込み、横四方固で一本を取って逆転勝ち。自身初となる日本一、嬉し

い両者に指導1が入る。試合開始2分40秒、吉良の大内刈が技有となる。後迫も必死に反撃に出るが、試合終了。吉良が嬉しい初優勝を手にした。

### ▽81kg級

決勝には今年、73kg級から81kg級に階級を上げた山本悠司（天理）と

### ▽100kg超級

決勝は、日本大学4年生の佐藤和哉と日本大学3年生の一色勇輝によ

◎優勝II佐藤和哉選手（日本）  
「昨年は怪我で出場できず、なんとしても優勝したいと思っていました。一色選手は、入ってきた当初は弱かったのですが、最後まで道場に残って、休みの日も一人で練習していました。本当に尊敬できる選手だったので、一色選手と最後にやれて良かったと思います」



66kg級決勝=磯田（奥）が小外刈で技有を奪う



73kg級決勝=野上（手前）が背負投で技有



90kg級決勝=安達（上）が横四方固で一本



100kg級決勝=吉良（右）が大内刈で技有



48kg級決勝＝田中（左）が攻める



52kg級決勝＝古瀬（下）が隅返で技有



57kg級決勝＝出口（手前）が大外刈で技有

女子

▽48 kg級

決勝は、田中芽生（龍谷）と小倉葵（環太平洋）の対決となった。田中は序盤から積極的に足を出して、果敢に攻める。小倉は消極的とみなされ、指導1が入る。試合中盤、亀になつて逃れようとする田中を返そうとした小倉を、逆に田中が返して後袈裟固で抑え込み、一本勝。田中が初優勝を遂げた。

▽52 kg級

決勝には、全日本ジュニアで優勝した古瀬舞（帝京）と岡本光理（淑徳）が勝ち進んだ。序盤から、古瀬が技を出して攻めていく。試合開始2分過ぎ、古瀬の隅返が技有となり先取する。その後、古瀬は場外で指導2を重ねながらも、岡本の猛攻を凌ぎ切つて試合終了。古瀬が1年生ながら嬉しい初優勝を達成した。

▽57 kg級

決勝は、昨年優勝した出口クリスタ（山梨学院）と竹内鈴（東海）が対戦。竹内は消極的とみなされ指導

2を重ねる。試合終了間際、竹内が崩れて立ち上がるところに、出口が力強い大外刈を繰り出して技有。そのまま時間となり、試合が終了した。最終学年の出口が2連覇を果たし、有終の美を飾った。

◎優勝Ⅱ

出口クリスタ選手（山梨学院）

「連覇できて素直に嬉しいです。昨年優勝して、他の選手が、打倒・出口だったので、その中で試合をするのは大変でした。オリンピックで優勝することが目標なので、その前にある試合を一つ一つ優勝できるように頑張りたいです」

▽63 kg級

決勝には、ユニバーシアードで優勝した能智亜衣美（筑波）と関東王者の佐藤史織（山梨学院）が勝ち上がった。試合序盤、組み合わせない佐藤に指導1が入る。その後も互いに決め手に欠け、能智に指導1、佐藤に指導2がつく。試合は拮抗したままGSに突入。GS開始2分、佐藤が場外に出て指導3が入り、勝負あり。能智が接戦を制して、初優勝に輝いた。



70kg級決勝=新添（奥）が内股で一本勝

### ▽70kg級

決勝は、ブダペスト世界選手権で男女混合団体戦金メダルメンバーの新添左季（山梨学院）と田中志歩（環太平洋）の対決となった。序盤は田中が積極的に攻めていくが、新添が田中の奥襟を掴み、徐々に攻めに転じていく。試合終盤、田中が大内刈を仕掛けるが、すかさず新添が切り返して豪快に内股を繰り出し一本。世界選手権団体戦の勢いそのままに、新添が初制覇を果たした。

### ◎優勝||新添左季選手（山梨学院）

「勝って嬉しいです。世界選手権が終わってから、現地で独特な雰囲気を感じ、それを力にできたのか

など思います。去年は2回戦で負けてしまい、挑戦する気持ちしかなかったので、気楽に自分の柔道ができたのかなと思います」

### ▽78kg級

決勝は、泉真生（山梨学院）と友清あかり（環太平洋）の顔合せ。序盤から互いに技を出せず、消極的として両者に指導1が入る。試合中盤からは、徐々に泉が奥襟を取って攻めを強めていき、友清が場外で指導2が入る。その後も泉は攻撃の手を緩めることなく、友清が首抜きで指導3を取られ、泉が反則勝。泉が僅差で勝利し、初優勝を手にした。

### ▽78kg超級

決勝は、井上あかり（環太平洋）と昨年準優勝した月波光貴穂（帝京）の対戦。井上が序盤から積極的に仕掛けていくと、月波は指導1を受ける。試合は慎重な組手が続き、GSに突入する。GS開始1分20秒、互いに消極的として井上に指導1、月波に指導2が入り、試合終了。井上が指導差で辛勝し、初優勝を決めた。

## 【大会結果】

### ■男子

▽60kg級①宮之原誠也（国土館）②

大島拓海（筑波）③小西誠志郎（国土館）

野村尚希（東海）

▽66kg級①磯田範仁（国土館）②木

戸清孝（天理）③末木貴将（筑波）、

田川兼三（筑波）

▽73kg級①野上廉太郎（筑波）②石

郷岡秀征（筑波）③島田隆志郎（國

學院）、五十嵐純平（筑波）

▽81kg級①山本悠司（天理）②藤岡

将吾（東海）③釘丸将太（国土館）、

山下恭平（日本）

▽90kg級①安達健太（東海）②長井

晃志（日本体育）③青木雅道（日

本）、増山香補（明治）

▽100kg級①吉良儀城（国土館）②後

迫孝誠（福岡）③寺尾拓真（国土

館）、吉野敦哉（鹿屋体育

▽100kg超級①佐藤和哉（日本）②一

色勇輝（日本）③西尾徹（天理）、

竹村昂大（国土館）

### ■女子

▽48kg級①田中芽生（龍谷）②小倉

葵（環太平洋）③稲毛ゆか（埼玉）、

尾崎万琳（淑徳）

▽52kg級①古瀬舞（帝京）②岡本光

理（淑徳）③内尾真子（筑波）、

柴田紗希（山梨学院）

▽57kg級①出口クリスタ（山梨学院）

②竹内鈴（東海）③高沢真牙（淑

徳）、水島友稀（帝京）

▽63kg級①能智亜衣美（筑波）②佐

藤史織（山梨学院）③土井雅子（環

太平洋）、米澤夏帆（龍谷）

▽70kg級①新添左季（山梨学院）②

田中志歩（環太平洋）③青柳麗美

（環太平洋）、小林幸奈（龍谷）

▽78kg級①泉真生（山梨学院）②友

清あかり（環太平洋）③鈴木伊織

（環太平洋）、堀歩未（鹿屋体育）

▽78kg超級①井上あかり（環太平洋）

②月波光貴穂（帝京）③井上舞子

（淑徳）、糸田晴乃（筑波）

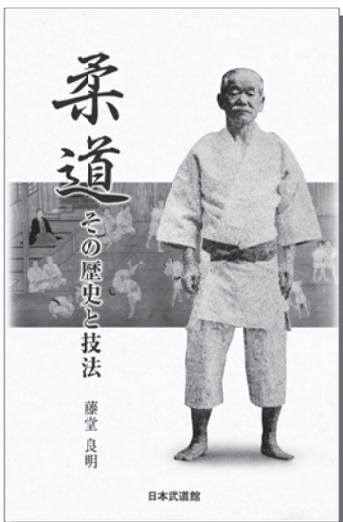


好評発売中!

# 柔道 その歴史と技法

筑波大学体育系教授 藤堂 良明 著

「原点に帰る」には、「原点を知る」必要がある。



四六判・上製・330頁・本体2,400円+税

柔道の歴史を振り返りつつ、その技法が、どのように形作られてきたのかを、丁寧に解説しています。



武道の稽古は、技を通して精神を磨き、やがて社会のためになるという教育の道でもあった。時代は移り変われども、日本の伝統に培われた「武道としての柔道」を見失わないでいただきたいと願うものである。(本書「あとがき」より抜粋)

## 目次

<p><b>第一章 組討ちの起こりと技法</b>          体術の起こりと技法          組討ちの体系化と技法</p> <p><b>第二章 柔術諸流派の歴史と技法</b>          竹内流腰廻          関口新心流柔術          起倒流柔術          起倒流柔道          直信流柔道          真之神道流柔術          天神真楊流柔術</p>	<p><b>第三章 講道館柔道の歴史と技法</b>          講道館柔道の創設と技法          嘉納治五郎の乱取開発          講道館柔道の行事と整備          警視庁武術大会の勝利と技法          学校体操への柔道導入の試み          学校における柔道普及の実態          高専柔道の起こりと技法          嘉納治五郎の他武道への接近          精力善用国民体育の創案と技法          全日本柔道選手権大会の開催と技法</p>	<p><b>第四章 第二次世界大戦後の柔道復活と技法</b>          第二次大戦中の柔道界と技法          第二次大戦後の柔道禁止と復活          格技柔道から武道柔道へ          女子柔道の競技化と技法</p> <p><b>第五章 柔道技法の変遷と国際化への課題</b>          柔道技法の変遷と特徴          柔道の国際的普及と発展          段位制度の国際比較          柔道の国際化と課題</p>
--	--	--

 <p><b>編集・発行 日本武道館</b>          〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3          ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp</p>	<p>お問い合わせ・ご注文は          日本武道館出版広報課          までどうぞ!</p>	<p><b>TEL03(3216)5147</b>  <b>FAX03(3216)5158</b></p>
--	--	---

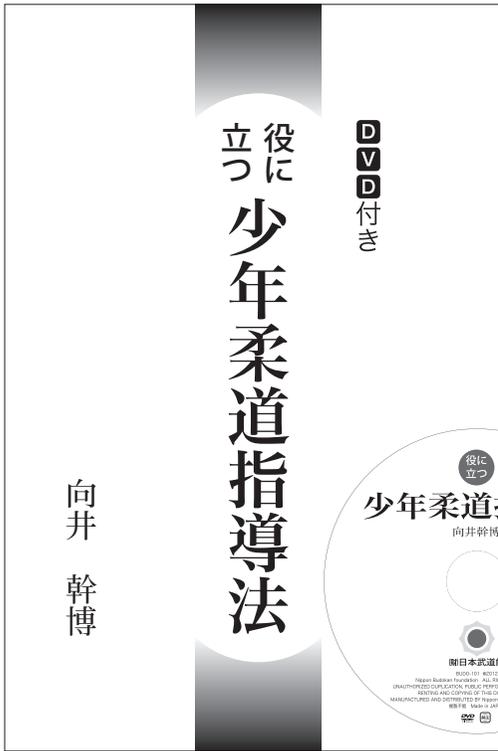
好評発売中！

公益財団法人講道館道場指導部課長  
**向井幹博**  
(むかい みきひろ) 著



# 少年柔道指導法

収録時間170分を超える  
解説DVD付属！



A5判・並製・DVD付・414頁・本体2400円十税

少年柔道指導の現場で役に立つ好評連載を単行本化。付録のDVDには、写真では伝わりにくかった部分を映像で紹介。  
また、少年柔道が抱える様々な問題点を、講道館所蔵の柔道文献から、解決の糸口を探っていく。

〈目次〉

第1部 解説編	第9章 少年柔道の未来のために
第一章 少年柔道は柔道指導の原点	第二章 実技編
第二章 基本動作の指導	第一章 礼法の指導
第三章 技の指導	第二章 受け身の指導
第四章 教育の中の柔道	第三章 基本動作の指導
第五章 指導の工夫	第四章 トレーニング法の指導
第六章 少年規定の変遷と問題点	第五章 柔道の練習法
第七章 柔道の安全指導	第六章 投技の指導
第八章 東日本大震災への講道館の対応	第七章 固技の指導

編集・発行 日本武道館  
 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
 ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は  
 日本武道館出版広報課  
 までどうぞ！

TEL03(3216)5147  
 FAX03(3216)5158

創設60周年記念・第60回全日本実業団剣道大会

# パナソニック(ES本社)が 実業団剣道日本一となる



決勝・代表戦＝パナソニックES本社・足達(右)が攻める

創設60周年記念・第60回全日本実業団剣道大会(主催)全日本実業団剣道連盟が9月18日に開催され、全国から実業団剣士365チームが集まって錦を削り、実業団剣道日本一を目指した。

決勝は、パナソニック(ES本社)と東レ(滋賀)が対戦。パナソニック(ES本社)が代表戦を制して優勝を果たした。

試合は、5人制・団体戦で行われ試合時間は準々決勝までは3分、準決勝・決勝は4分。勝敗は勝者数により決められる。同数の場合は総本数で決め、勝者数・総本数ともに同数の場合は、代表戦により勝負を決した。

## ◆準々決勝

準々決勝には、昨年優勝のパナソニック(ES門真)、富士ゼロックス(大阪)、東レ(滋賀)、NTT、前々回優勝の西日本シティ銀行(本店)、東芝テック(本社)、日通商事(本社)、そしてパナソニック(ES本社)の8チームが進んだ。パナソニック(ES門真)と富士

ゼロックス(大阪)の対戦は、パナソニック(ES門真)が2-0で勝利。2連覇を目指し、準決勝へと駒を進めた。

東レ(滋賀)とNTTの対戦では、次鋒戦にて東レ滋賀・藤田が面で先制すると、副将戦にてNTT・齊藤も小手で一本とし、1-1となる。

大将戦は引分となり、代表戦では東レ滋賀・樫原が12分におよぶ接戦を面で制し、東レ(滋賀)が勝ち進んだ。

西日本シティ銀行(本店)と東芝テック(本社)の対戦は、西日本シティ銀行(本店)が1-0で勝利。

日通商事(本社)とパナソニック(ES本社)の対戦では、先鋒戦にてパナES本社・山田侑が面を決めるが、日通本社・金成も面で一本を取り、引分となる。次鋒戦、パナES本社・吉村が胴で先取するも、日通本社・中野も面を決めて引分。中堅戦、副将戦は両者決め手がなくままに引分となり、勝敗は大将戦へと持ち越される。パナES本社・足達は日通本社・山内から小手を決めて勝利。パナソニック(ES本社)が1-0で日通商事(本社)を破り、準決勝に進出した。

◇準決勝

パナソニック 2-1 西日本シティ銀行  
(ES本社) (本社)

山田侑希 | 佐藤雄法  
吉村大地 | 小川慶明 ○  
小野準平 | 関 雄介  
○高 優司 | 濱地佳祐  
○足達翔太 | 甲斐勇太

先鋒戦は引分。次鋒戦では、序盤から西日本シティ銀行本社・小川が攻勢をかける。小川はパナソニックES本社・吉村が居ついたことを見逃さず、鋭く面に飛び込み、一本勝となった。中堅戦は引分。副将戦では、パナES本社・高が出端面を決

めて一本勝。パナES本社と西日本シティ本社の勝者数は同数となり、大将戦へと突入した。

大将戦、西日本シティ本社・甲斐は、パナES本社・足達が足を止めたところに面を打ち込み、これを決めた。しかし試合再開直後、甲斐が守りに転じて生じた隙に合わせて、足達は右面を奪い、本数は同数となった。

そして勝負の立会い。焦る甲斐は小手を打ち込むが、足達はこれを防ぎ、直ぐさま小手に出る。甲斐は手元を上げてしまい一本。足達が逆転二本勝となり、パナソニック(ES本社)が決勝進出を決めた。



準決勝・大将戦＝パナソニックES本社・足達(右)は小手で逆転勝ち

◇準決勝

東レ(滋賀) 0代0 パナソニック  
(ES門真) (ES門真)

寺井直希 | 日下達基  
藤田浩輝 | 岩根佑馬  
嘉数 卓 | 勝見健太  
各務絢揮 | 永井雪新  
榎原圭亮 | 磯口仁詩

代表戦 榎原圭亮 | 磯口仁詩

両チームとも健闘するものの、先鋒戦から大将戦まで、勝者数、総本

数ともにゼロの引分となり、代表戦は東レ滋賀・榎原とパナソニックES門真・磯口による大将同士での再戦となった。

代表戦、慎重な試合運びとなる両者。後半、鏢(つばぜ)競り合い(あ)から榎原が面返し胴を打ち込む。負けじと磯口も面、小手と繰り出す。両者は攻め切れずに有効打突を奪えない。

最後は、磯口が面に出てきたところ、榎原はこれを捌(さば)き、胴を決めて勝利した。東レ(滋賀)が10分を越える代表戦を制し、決勝へと進んだ。



準決勝・代表戦＝東レ滋賀・榎原(手前)が胴を決めて勝利



決勝・先鋒戦＝パナES本社・山田(右)対東レ滋賀・寺井



決勝・副将戦＝パナES本社・高(左)が面を繰り出す



決勝・代表戦＝パナES本社・足達(奥)が攻勢をかける

◇決勝

パナソニック  
(ES本社) 1代―1東レ(滋賀)

- |       |   |   |       |
|-------|---|---|-------|
| 山田侑希  | ― | メ | 寺井直希○ |
| 吉村大地  | ― | ― | 藤田浩輝  |
| 小野準平  | ― | ― | 嘉数 卓  |
| ○高 優司 | メ | ― | 各務絢揮  |
| 足達翔太  | ― | ― | 榎原圭亮  |
| ○足達翔太 | コ | ― | 榎原圭亮  |

先鋒戦の終盤、パナソニックES本社・山田は、東レ滋賀・寺井に對して小手、面を打ち込む。寺井は山田の面に引きながら合わせて面を放ち先取。そのまま一本勝となった。次鋒と中堅戦は引分となった。副将戦、開始早々に踏み込んだ東レ滋賀・各務に對して、パナES本社・高は面を繰り出す。すぐに各務は守りに切り替えるものの、間に合わずに一本。高が一本勝を収めて、両チームの勝数は同数となった。

大將戦、パナES本社・足達、東レ滋賀・榎原の対決となった。両者は決め手に欠け、一本を奪えない。そのまま引分となり、勝負の行方は代表戦へと持ち越された。代表戦

は、再びパナES本社・足達と東レ滋賀・榎原による対戦。両者は相手の動きを注視して、試合は静かに流れていく。試合が動いたのは4分過ぎ、パナES本社・足達が鋭い小手を打ち込む。それを読んでいた東レ滋賀・榎原は面で応じるが、足達の手が一瞬早く決まった。足達の本勝となり、パナソニック(ES本社)が優勝を果たした。

◎優勝Ⅱパナソニック(ES本社)・酒井順也監督



「昨年、パナソニックはES門真が優勝しましたが、今年はゼロから作り上げてきました。結果的には門真から本社にきた足達チームを引っ張り、代表戦でも決めてくれました。チームカラーは昨年同様攻める剣道ですが、今年が一番厳しいのではと思えるような稽古を積み重ねてきました。それが功を奏したのだと思います。東レとは長年のライ



「本当に嬉しいですね。2連覇を目指してやってきていましたので、それが達成できて、嬉しい気持ちがいっぱいです。準決勝でES門真が負けてしまつて、その思いをしつかり胸に抱えながら決勝に臨みました」



◎最優秀選手賞Ⅱパナソニック(ES本社)・足達翔太選手

バルであり、決勝は接戦となりました。チームに、足達までまわせばという気持ちがこの大会から出てきましたので、それまで高がよく繋つなぎつけてくれました。来年はどんな形でスタートすればいいのか、選手と話をしながら、考えないといけないと思います」



喜びに沸くパナソニック選手と関係者

【大会結果】

- ▽優勝Ⅱパナソニック(ES本社)
- ▽2位Ⅱ東レ(滋賀)
- ▽3位Ⅱパナソニック(ES門真)  
西日本シティ銀行(本店)
- ▽敢闘賞Ⅱ富士ゼロックス(大阪)、  
NTT、東芝テック(本社)、日  
通商事(本社)

# マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

B5判・302頁・本体 1,000円+税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。  
収録偉人一覧：嘉納治五郎(柔道)、高野佐三郎(剣道)、阿波研造(弓道)、  
双葉山(相撲)、船越義珍(空手道)、植芝盛平(合気道)、宗道臣(少林寺拳法)、  
園部秀雄と三田村千代(なぎなた)、鶴沢尚信(銃剣道)

ご注文・お問い合わせ 日本武道館 月刊「武道」編集部 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158  
<http://www.nipponbudokan.or.jp> インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索!

山神眞一 著  
(香川大学教授・同学部長、医学博士、剣道教士八段)

# 役に立つ少年剣道指導法

好評発売中

少年剣道指導の現場で役に立つ月刊「武道」好評連載を単行本化。現代の少年剣道が抱える様々な問題点に対して、長年教育現場で培った筆者の視点から解決の糸口を探っていく。少年剣道指導者必読の一書。  
付録のDVDには、写真では伝え切れなかった実技関連の部分を収録時間115分を超える映像で紹介。

解説DVD付属!



A5判・並製・  
256頁・DVD付・  
本体2400円+税

## 目次

- 第一章 一眼〜子どもと少年剣道の今を眼る  
現代の子どもの体と心を見つめ直す／少年剣道の現状と課題／少年剣道に対する保護者の声
- 第二章 一足〜少年剣道の足跡とこれから  
現代剣道復活の道程とこれからの少年剣道／剣道の国際化と少年剣道の未来／少年剣道拡大の秘密を探る
- 第三章 三胆〜指導者の胆力を求めて  
少年剣道における指導者の在り方／文武両道と少年剣道／コミュニケーション力と人材育成の極意
- 第四章 四力〜技の力を学ぶ  
剣道のアイスペレーキング／礼法について／立礼と座礼／木刀・竹刀を使用した構えと素振りの対人的指導法／切り返しの際的指導法／基本打突の打ち方と打たせ方／連続技の打ち方と打たせ方／払い技の打ち方と打たせ方／引き技の打ち方と打たせ方
- 第五章 残心  
海外での剣道事情／中学校における剣道授業  
あとがき

編集・発行 公益財団法人 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

◎好評発売中

筑波大学教授 酒井利信 著  
四六判・上製・346頁・本体2400円＋税

# 刀剣の歴史と思想

刀剣を単なる武器としてではなく、  
神聖なものとして捉える思想とは何か――



題字揮毫―鹿島神宮 鹿島則良 宮司

日本独自の展開をみせてきた刀剣に関する思想を、中国、朝鮮など、東アジアにまでルーツをたどりながら、確かな史料を基に考察。古事記・日本書紀に語られる神話、平家物語・太平記などにみられる三種の神器にまつわる記述、鹿島新當流、示現流に伝わる伝書といった歴史的文献を読み解き、日本刀剣思想のオリジナリティを浮かび上がらせる。

## 目次

序章	探求の旅をはじめに
第二章	刀剣の歴史
第二章	刀剣思想の源流
第二章	古代中国の宝剣伝説 太阿の剣
第二章	干将莫耶の宝剣伝説
第二章	高祖の斬蛇剣
第二章	道教と剣
第二章	古代朝鮮の刀剣思想
第二章	神話的世界の形成と劍神の誕生
第二章	天より降る剣 節霊剣
第二章	天地を繋ぐ剣 草薙剣
第三章	信仰のなかの刀剣思想
第三章	祀る剣 祀られる剣
第三章	辟邪の呪剣
第三章	うけいの呪術と剣
第四章	中世における刀剣思想
第四章	修験道と剣
第四章	三種の神器の不思議
第四章	『平家物語』にみる三種の神器
第四章	『太平記』が語る草薙剣像
第五章	近世剣術における刀剣思想
第五章	剣術伝書に語られる日本神話
第五章	新當流にみる霊剣の技術
第五章	示現流にみる心の利剣
第六章	近現代における刀剣思想
第六章	近世以降の刀剣思想
第六章	古代と現代を繋ぐ刀剣
第六章	鹿島神宮日本刀奉納鍛錬
終章	稽古照今

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ！

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

# 田知本遥 (柔道女子 70kg級) が現役引退



リオデジャネイロ五輪柔道競技女子70kg級金メダリストの田知本遥選手(27歳・ALSOK)が10月10日、東京・元赤坂のALSOK本社で見を行い、現役引退を発表した。

大学時代には姉・愛選手(ALSOK)とともにグランドスラム・東京で姉妹揃って優勝した。2016年のリオ五輪では、女子で大会唯一の金メダルを獲得。大会終了後は、無期限の休養を取っていた。

「この度、柔道家として現役を退くことを決意いたしました。リオ五輪では、自分の人生の全てを賭けて畳に上がり、持てる力を全て畳の上に置いてくることができました。ロン

ドン五輪の敗戦を踏まえて、憧れの五輪の舞台で両方の経験を味わえたことは、私にとって何事にも代えがたい貴重な経験となり、この経験を次の道で生かしたいと思う気持ちが強くなりました」

今後は同社に所属しながら、筑波大学大学院で学業に励む。指導者としての夢も語った。

「単に勝利だけを考えるのではなく、もっと広い視野で競技に打ち込むようなことを教えられる指導者になりたいなと思っています」

20年間、全てを賭けてきた柔道を「生きがい」と表現した田知本選手の表情は晴れやかだった。

《主な戦績》

- リオデジャネイロ五輪 金メダル (2016年)
- グランドスラム・チュメニ 優勝 (2015年)
- グランドスラム・パリ 優勝 (2012年、2015年) 準優勝 (2016年)
- グランドスラム・東京 優勝 (2010年) 準優勝 (2012年、2014年)
- グランドスラム・モスクワ 準優勝 (2011年)
- 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 優勝 (2014年)
- 全日本選抜柔道体重別選手権大会 優勝 (2012年、2015年、2016年)
- ロンドン五輪 第7位 (2012年)

## マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

B5判・302頁・本体 1,000円+税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。  
収録偉人一覧：嘉納治五郎(柔道)、高野佐三郎(剣道)、阿波研造(弓道)、双葉山(相撲)、船越義珍(空手道)、植芝盛平(合気道)、宗道臣(少林寺拳法)、園部秀雄と三田村千代(なぎなた)、鶴沢尚信(銃剣道)

マンガ・武道の偉人たち



ご注文・お問い合わせ 日本武道館 月刊「武道」編集部 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158 <http://www.nipponbudokan.or.jp> インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索!

杉江正敏

(すけいさ・まさとく)

写真と記事でたどる

# 武道の近代史



月刊『武道』1999年1月号から2001年3月号までの  
27回連載をまとめた杉江正敏先生のライフワーク

明治以降出版された諸雑誌の記述から、武道を取り巻く日本文化や、体育・スポーツ全般にわたる内容を掲載した記事を紹介する形で、武道がどのように近代化へと歩みを進めてきたのかを明らかにするための基礎資料集。

※本書は非売品のため、書店では取り扱っておりません。日本武道館出版広報課に直接お申し込みください。

## 杉江正敏先生の略歴

- 1946(昭和21)年12月11日 岐阜県不破郡垂井町に生まれる  
1969(昭和44)年 東京教育大学体育学部体育学科卒業  
1971(昭和46)年 同大学大学院体育学研究科修了  
同年 同大学教務補佐員  
1975(昭和50)年 大阪大学助手  
以後 同大学講師、助教授(准教授)、教授に昇格  
2010(平成22)年 同大学定年退官  
2016(平成28)年7月6日 逝去。享年70



B5判・182頁・  
頒価1000円+税  
(送料含む)

## 目次

- 第1回 連載をはじめに あたつて  
近代武道史研究の意義／私の研究の整理／明治期における武道の社会的評価／武道とスポーツ／学校教育と武道／戦時体制下の武道
- 第2～12回 『風俗画報』にみる明治期の武道  
『風俗画法』について／江戸趣味・懐古・故実にみられる武術／各地、名所図会にみられる武術／武術の興行と講習会への移行について／外国人歓迎行事や博覧会の協賛行事と武術の競技化の進行／明治二十年以降にみられるナショナルイズムの風潮と武道教育／日露戦争と武道の評価／武士道と武道の問題／補遺 およびまとめ
- 第13～20回 『体育と競技』・『アサヒスポーツ』の両誌にみる武道のあゆみ  
武道の教育化の進展と名称変更／昭和六年の武道必修化への経過について／武道の競技化の進行とスポーツ／御大礼記念天覧武道大会／体育の日本化の進行と武道教育／「非常時日本」と武道
- 第21・22回 『体育と競技』・『アサヒスポーツ』の両誌にみる武道の国際化のあゆみ
- 第23回 『体育と競技』誌に見る日中戦争期の武道教育のあゆみ
- 第24回 『学校体錬』・『学徒体育』両誌にみる戦時体制下の武道教育について
- 第25・26回 『新武道』誌にみられる戦時体制下の社会における武道について
- 最終回 戦後の武道のあゆみ  
学校武道の禁止と大日本武徳会の解散／武道のスポーツ化と学校武道の復活／武道から格技へ／格技から武道へ

杉江正敏先生の略歴と主要業績

編集・発行 公益財団法人日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

# 日本武道館の単行本

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

# マンガ・武道のすすめ

## マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう



日本武道館

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。

大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

### 《目次》

序章 武道のすすめ

松永光(日本武道館)／高村正彦(武道議員連盟)／有松育子(文部科学省)

第1章 いざ! 武道の世界へ

第2章 柔道のすすめ

大澤慶己／長谷川博之／腹巻宏一／吉村和郎／山内直人

第3章 剣道のすすめ

森島健男／角正武／千田重光／井上茂明／小林知洋

第4章 弓道のすすめ

森永良雄／吉本清信／宇佐美義光／柴田猛／大和田正孝

第5章 相撲のすすめ

塔尾武夫／住吉和則／下村勝彦／安井和男

第6章 空手道のすすめ

金城裕／長谷川伸一／安里廣之／山本英雄／大石武士

第7章 合気道のすすめ

多田宏／磯山博／菅沼守人／珠玖仁

第8章 少林寺拳法のすすめ

合田清一／阿達美恵子／八巻哲／松浦哲也

第9章 なぎなたのすすめ

澤田花江／梶山武子／一川治子／左村美穂子／大津博美

第10章 銃剣道のすすめ

桑原正治／兼坂弘道／遠藤守／石川慎也／北村弘之

第11章 古武道のすすめ

竹内藤十郎(柔術)／笹森建美(剣術)／加藤伊三男(槍術)／小笠原清忠(馬術)

日本武道館の歴史

(B5判・236頁)

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)



**今、なぜ武道か**  
 一文化と伝統を問う一  
 福島大学教授  
**中村 民雄** 著  
 (四六判・上製・370頁)



**BUDŌ:**  
**THE MARTIAL WAYS OF JAPAN**  
 日本武道館 編  
 翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット  
 (B5判・上製・DVD付・336頁)



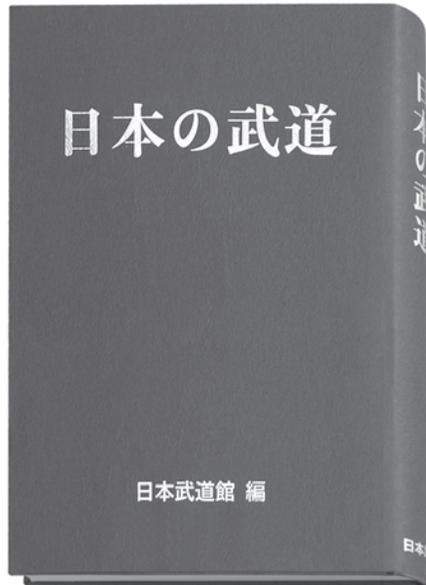
**武道**  
**子どもの心をはぐくむ**  
 早稲田大学教授・教育カウンセラー  
**菅野 純** 著  
 (四六判・上製・410頁)



**大先輩に聞く**  
 月刊「武道」記者  
**田谷 将俊** 著  
 (四六判・上製・376頁)

一千数百年の歴史を有する  
 武道の全容をこの一冊に集大成!!  
 武道小百科事典としても役立つ  
 充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・  
 少林寺拳法・なぎなた・銃剣道をはじめ、  
 各武道統括団体の全面協力によって完成!!



日本武道館 編  
 (B5判・上製・箱入・526頁)



日本武道館 編

# 日本の武道

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。